

令和6年

2月号

No.652



日蓮宗

法音寺



今月のご法話

貪りの心に支配されない

悦可衆心

よい教えを伝えよう
おし つた

今日一日、

人に感謝しましょう

今日一日、

人に親切にしましょう

今日一日、

人を善に導きましょう

月刊・法音 令和6年2月号 No.652 目次

【信仰の指針】幸運ことうん 今日一日の善行こそが開運の秘訣です 1

【朝のこない夜はない】

貪りの心に支配されない 山首 鈴木正修 2

◆令和6年新年祝禱会ご報告 17

◆講日のご案内 21

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 22

◆節分会のご案内 24

◆仏教漫画『日蓮さま』・22多難忍受 25

◆ぼたもち寺 33

◆お寺の本棚 34

◆常寂光土への誘い(19) 36

◆のりのね体験 40

◆顕修院日達上人 御祥月命日 報恩唱題行開催 42

◆支院だより 44

◆法音寺は「信仰と福祉のお寺」です 68

◆福祉のひろば 69

○幸せのお手伝い 70

○昭徳会・三法人の交流を深める取り組み 72

○日本福祉大学付属高等学校・吹奏楽部も全国大会に出場します！ 74

◆お見舞い／編集後記 76

◆連載まんが・ひまわり・133 肖像画 77

◆法音寺の社会福祉・教育事業 77

掲載写真 表紙・信仰の指針 3頁～17頁…梅田雅臣氏撮影

2頁…加納将人氏撮影

表紙写真・ロウバイ

信仰の指針

幸運

こ
う
う
ん

今日一日の善行こそが

開運の秘訣です

日教五





朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

貪りの心に支配されない

今年から新NISA（少額投資非課税制度）が始まりました。日本人は昔からよく貯蓄をする民族だと言われています。その日本人の銀行預金やタンス預金を欧米のように投資に向けさせて、経済を活性化させようというのが政府の方針のようです。

投資も、堅実にコツコツと積み立てていくようなものは良いとは思いますが、どうしても人間はだんだんエスカレートして、大きく儲けようとして失敗することが多いように思います。

以前、雑誌で次のような記事を読んだことがあります。一等の宝くじに二年続けて当たった人が、自分は金運が



人生を送る当選者が後を絶ちません。宝くじ当選で人生が暗転した実例をいくつか紹介します。

ウィリアム・ポスト三世は1988年にペンシルベニア州で1620万ドルを獲得し、銀行口座の残金が2ドル46セントしかなかった生活から一転、高級レストランでの食事や家用飛行機の購入といった散財を繰り返し、さらに大家の女性に財産の3分の1をだまし取られ、挙句の果てには実の弟が雇った殺し屋に命を狙われました。結局、投資にも失敗し、当選3カ月後には自己破産しました。

この人は1993年にワシントンポスト紙の取材で語っています。

「皆、大金が転がり込んできた時の夢ばかり語るが、そ



の後に始まる悪夢について理解していない。私は破産してからの方がずっと幸せだ」

1996年、イリノイ州の宝くじで2000万ドルを手にしたジェフリー・ダンピエ氏は愛人に殺害されました。愛人は共犯者とともにお金を奪うだけのつもりでしたが、激昂したジェフリー氏に「私を撃て、でなければ私がお前を撃つ」と言われ、ピストルの引き金を引いたのです。

2021年、100万ドルを当てたウルージ・カーン氏は、当選が公式に発表される前に急死してしまいました。最初の検視では自然死と判断されたのですが、二度目の検視で毒殺の可能性が浮かび上がりました。妻の作ったカレーを食べた直後の死だったのです。しかし、証



扱こがなく、この事件じけんは迷宮入りめいきゅういとなったそうです。

こういった悲劇ひげきを招まねかないために、2016年ねん、経済誌けいざい『フォーブス』が当選者とうせんしゃに対してアドバイスたいをする記事きを掲載けいざいしました。

まず、州法しゅうほうで氏名公表しめいこうひょうが義務ぎむづけられていない場合は匿名どくめいを通とおすこと。次に税務ぜいむの専門家せんもんかに受け取り方法ほうほうについて相談そうだんすること。さらに仕事を辞やめるなど生活せいかつスタイルを急きゅうに変かえないこと。最後さいごは、買かい物を始はじめる前にすべての借金しやくきんを返かえし終おえることでした。

私わたしはこれらに、この幸運こううんに感謝かんしゃして恵めぐまれない人々ひとびとに必ず寄付きふをすることを付け加くわえるべきかと思おもいます。

次に心学しんがく道話どうわを紹介しょうかいします。江戸時代えどじだい、今の東京大学とうきょうだいがく



のある本郷ほんこうに四両りょう二人扶持にんぶちという貧しい御家人ごけにんが住んで
いました。ある年の暮くれに、この人が半年分はんとしげんの俸給ほうきゅう二両
を受け取とって家いえに帰かえる途とちゆう中ちゆう、神田川かんだがわのほとりいまで今いまにも川
に飛とび込こもうとする少年しょうねんに出でくわしました。「どうした
んだ」と声こゑをかけると「私わたしは紙問屋かみどんやの丁稚てうちで回かいしらうした売
掛金かけきん一両りょうをスリとに取とられてしままいました。主人しゅじんは非常ひじょうに
厳きびしい人ひとですから、どれしかだけ叱しかられるかわかりませせん。
怖こわくなつて身投みなげをしようと思おもつていたところところです」と
言いいました。その事情じじようを聞きいて御家人ごけにんは「そうか、氣きの
毒どくだな。わしがその一両りょうをやるから、何事なにごともなかつたこ
とにして、主人しゅじんのところところに帰かえりなさい」と言いいました。
それそれに對たいして丁稚てうちは「見みず知しらずかたの方かたからこんな大金たいきんを
いたたいだたいて」と言いつて、しきりに恐縮きょうしゆくします。それそれに對



して御家人は笑って「貧乏御家人のわしにとつては確かに大金であるが、とにかく人の命には代えられない。遠慮なく持って帰りなさい」と言いました。丁稚は何度も何度も頭を下げながら帰って行きました。御家人は一年の四分の一の俸給がなくなっていましたから、女房に帯の一本も買ってやれないし、子どもの着物も買ってやれなくなつたなどと思ひながら歩いていました。すると近くの神田明神で富くじ（宝くじ）が売られていました。懐が寂しくなつた御家人は何の気なしに一枚買いました。家に帰ると女房が内職をしています。内職をしながら「お帰りが遅かつたですね。どうされたんですか」と聞きます。そこで丁稚を助けた話をします。すると女房が「それは良いことをされましたね。私達のこと



は少々儉約すれば大丈夫ですから」と言いました。

それからしばらくして、瓦版屋が近くで「神田明神の富くじの当選番号の発表があったぞ」と瓦版を売っていました。御家人も一枚買っていますから、瓦版を買って確認すると、何と一等が当たっていました。驚いて大声で「当たった、当たった。おれも分限者（金持ち）だ」と叫びました。大声をあげたところに奥さんがやってきました。

「いったいどうなされましたか」

「あの一両を丁稚に与えた後に懷中が寂しくなつて、ついつい富くじを買ったんだ。そしたら千両が当たったんだよ」

それを聞いて奥さんは眉をひそめて「浅ましいお心に



なられましたね。子どもが大きくなって『この家の財産はどうしてできたのか』と問われたら、何と答えますか。ああ、浅ましい」と言いました。それに対し御家人は「確かにお前の言う通りだ。まことに恥じ入ったことだ。面目ない。よし、早速心残りのないように焼いてしまおう」と言って、行灯の火にかざしてその富くじを燃やしてしまいました。その後、神田明神では一等のくじが売れているのに誰も取りに來ないため、寺社奉行に調べてもらいました。寺社奉行が瓦版屋に聞いてみると「当たった、当たったという人がいました。その人ではないでしょうか」ということで、御家人の家に寺社奉行がやって來ました。そこで御家人が事情を話すと、寺社奉行は「見上げたものだ。貧しい暮らしをしているのに大した



ものだ。何か役につけてやろう」ということで小普請方
という役職につけてくれました。そして、まじめにお役
をつとめている内に小普請奉行にまでなりました。小普
請奉行は五百石取りの上級武士です。

小普請奉行になったその御家人が所用があつて築地の
勝鬨で渡し舟を待っていると、いきなり袂をつかんだ男
がいました。御家人は船に急ごうとしますが、男が放し
ません。「急いでいるから手を放しなさい」と言うと、
その男が言いました。

「絶対に放しません。私は昔、神田川のほとりであなた
に助けてもらった丁稚です。あの時申し上げたように、
主人があまりにも厳しいので、皆辛抱できずにやめてし
まい、私だけが残り、その後、主人が亡くなって私が後



を継ぐことになったのです。すべてはあなた様のお陰です。いつかご恩返しをしたいと思って一生懸命あなた様を探していました。そして、ついにお会いできました。今日は絶対にはなしません。私どもへぜひおいでください」

そして紙問屋の座敷に通され、そこで接待を受けていると、にわかになが騒がしくなってきました。何事か聞いてみるとその御家人が乗るはずだった渡し舟が転覆して、大勢死人が出たということでした。それを聞いて御家人は「あの船に乗っていたら自分も溺れ死んでいたかもしれない。昔、人を助けたお陰で今度は自分が助かった。ああ、人生は不思議なものだな」と言ったという話です。



歴史上、投機によるバブルは何回も起こっています。

バブルは泡ですから、必ずはじけてなくなってしまう。イギリスで1720年に起こった南海泡沫事件はバブルの語源となった事件で、万有引力を発見したアイザック・ニュートンも大損をしています。この時のニュートンの言葉が遺されています。

「私は天体の動きは計算できるが、人々の狂気までは計算できなかった」

日本でも1980年代後半からの一時期、バブル景気がありました。当時、多くの企業がわれ先にと不動産投機に血道を上げました。土地を所有し転売するだけで、その資産価値がどんどん上がっていききました。その値上がりを見込んで銀行から巨額のお金を借り、それをまた



不動産投資につき込むということを、さらに多くの企業がやっていたのです。しかし、バブルがはじけるとともに、多くの企業が不良債権を抱えて倒産しました。この時代を振り返って、現代の経営の神さま稲盛和夫さんが言われています。

「京セラには、それまで営々と蓄積してきた多額の現預金がありましたから、それを不動産投資に回さないかという誘いをずいぶん受けました。中には、私がそのうまみを理解していかないかのように思ったのか、儲けの仕組みを懇切丁寧に教えてくださった銀行の人もいました。しかし私は、土地を右から左へ動かすだけで多大な利益が発生するなんて、そんなうまい話があるはずがない。あるとすれば、それはあぶく銭であり浮利にすぎない。」



簡単に手に入るお金は簡単に逃げていくものだ。そう思
っていたので、投資の話はみんな断ってしまいました。
額に汗して自分で稼いだお金だけが、ほんとうの利益
なのだ。私にはそんな極めて単純な信念がありました。
それは、人間として正しいことを貫くという原理原則に
基づいたものでした。ですから巨額の投資利益のことを
聞いても、欲張ってはならないと自戒することはあ
っても、それに心を動かされることはなかったのです」

人間は弱い存在です。よほど意識して自分を戒めてい
かないと、ついつい欲望や誘惑に負けてしまうものです。
慈悲・至誠・堪忍を徳目として、また戒めとして日々精
進していききたいものです。





『令和6年新年祝禱会』









良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。
是非講日にご参詣いただき
教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

大阪支院	2月3日(土)	福山支院	2月10日(土)
瀬戸布教所	2月11日(祝)	関支院	2月12日(月)
高槻支院	2月21日(水)	岡山支院	2月23日(祝)

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	4日・11日・24日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市城之崎4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	3日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・24日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825
佐屋支院	3日・18日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0586)72-7208
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0568)22-5813
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋九之坪東ノ川20	☎(058)245-2939
岐阜支院	3日・14日・25日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)388-2740
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(0584)78-4854
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0575)22-0776
関支院	3日・12日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)23-3771
平賀支院	3日・11日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)65-3933
郡上八幡支院	8日・11日・25日	郡上市八幡町小野72-1-3	☎(059)352-3633
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(0595)21-0127
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

☎ご連絡は本山事務局へ

京都支院	1日・11日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	12日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	3日・11日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	10日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	10日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙9-10	☎(0799)421-0175
岡山支院	7日・11日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	12日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	10日・18日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	10日・25日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)62-5087
安芸津支院	11日・25日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)45-4012
坂支院	11日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	4日・15日・18日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1-1-2	☎(0920)44-5445
筑後布教所	11日・25日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)53-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)58-0742
田川支院	11日・25日	田川市春日町7-30	☎(0947)42-1819
名古屋地区	4日・7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	11日・19日・24日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)85-6860
亀岡布教所	11日・25日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)25-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)



・令和6年・

節分会

(開運厄除け祈願)



You Tubeで学ぼう!

節分って?

節分とはなぜ節分というのでしょうか?鬼はなぜ角があつてトラのパンツ(ふんどし)なのでしょう?知っているようで知らない節分を説明しています。

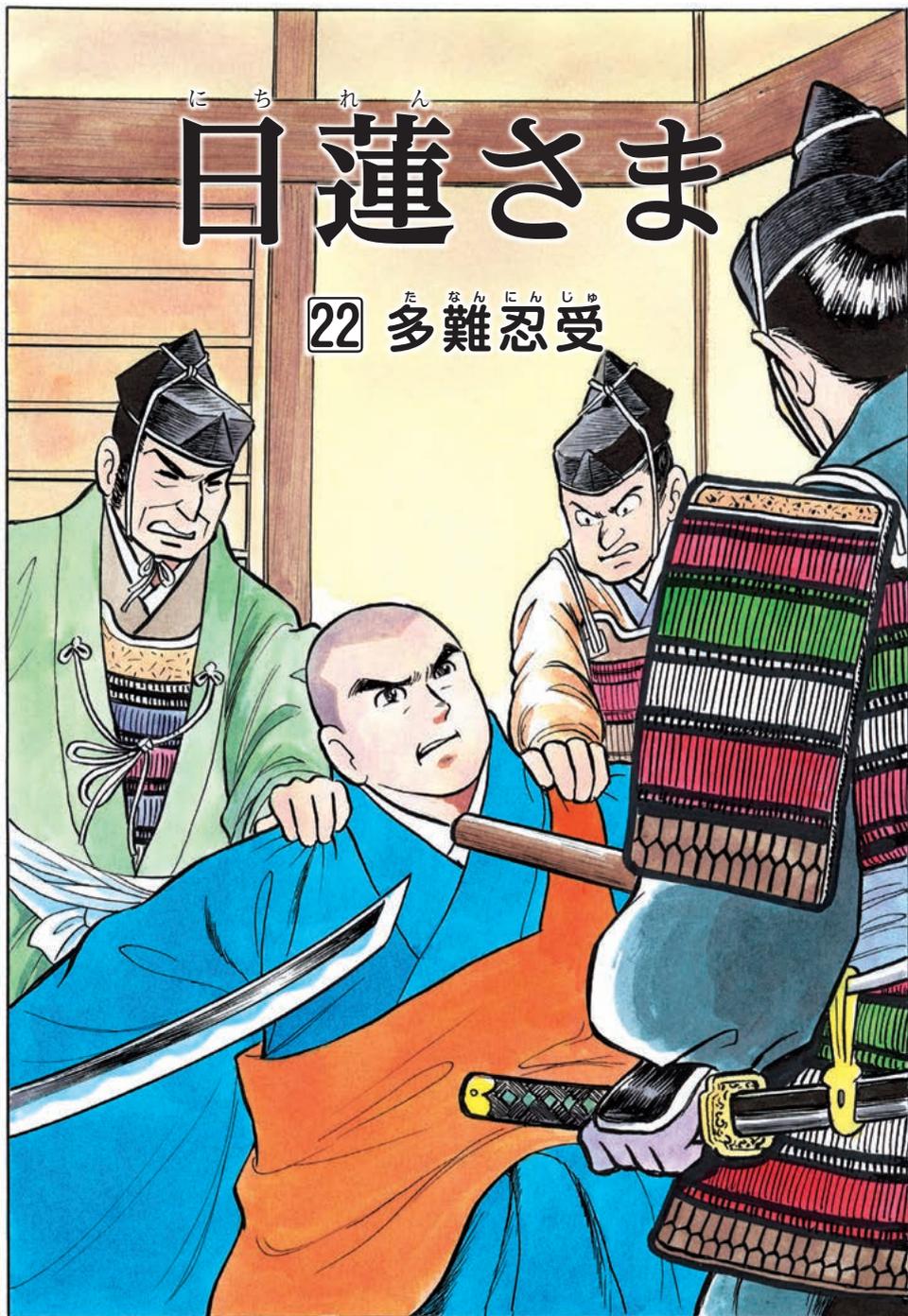


※法音寺では、厄年に関係なく、どなたでもお申込みできます。
駐車場には限りがありますので、公共交通機関を利用してお越しください。

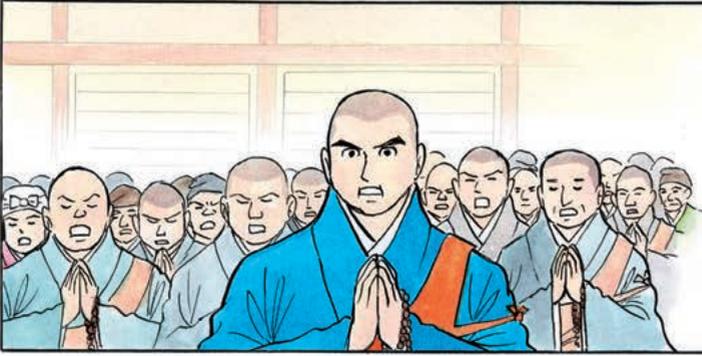
詳しくは、各支院・布教所までお問合せください。

に ち れ ん
日蓮さま

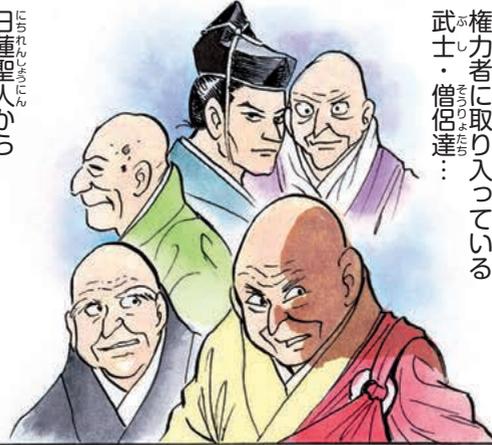
22 た なん にん じゆ
多難忍受



文永八年（1271年）
 日蓮聖人五十歳
 法華經広宣流布の
 熱意はますます増すばかり
 信者の数も日増しに多く
 なっていきました



しかしその一方で
 雨乞いの競争に敗れ
 すっかり面目を潰した
 極楽寺の良観上人を筆頭に
 権力者に取り入っている
 武士・僧侶達…



日蓮聖人から
 釈尊の本懐とは異なる
 邪教と指摘された
 念仏・禅宗などの僧侶達は
 心の中ではこの上ない
 ほどの憎しみの炎を燃やし
 それはもう止めることが
 できない所まできていました



お師匠さま
 大変です
 侍が大勢…



じゃまだ
 どけ！
 どかぬか！
 道をあける



松葉ヶ谷 草庵



われは侍所司
平左衛門尉頼綱
である

きさまの悪行の数々
各方面より訴えあり
上を悔り下を悩ます
その罪重く
極刑にいたせとの
御館さまの
厳命なるぞ
さよつ心得





熊丸
手向かい
するでない

やかま
しい!



こいつ
お師匠さまに
何を
する



強がるでない
所詮は謀反人だ
やれ!



お師匠さま
お逃げください
こいつはお師匠さまを
殺す気です

熊丸
落ちつきなさい

私のことは
心配しなくて
よい

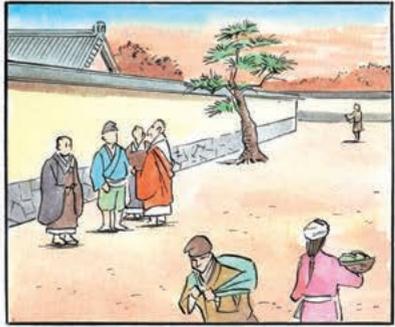


よーし
ひったてい!



死はもとより
覚悟の上だ
法華経にこの身を
捧げるならば
穢れた土も黄金に
変わるであろう

わずか小さな島国の主を恐れて
閻魔大王の前に出られるものか
さあ存分にするがよからう



お沙汰は
決まったのか

はい悪口の
咎により
佐渡流罪だ
そうです

それでは
手ぬるいぞ



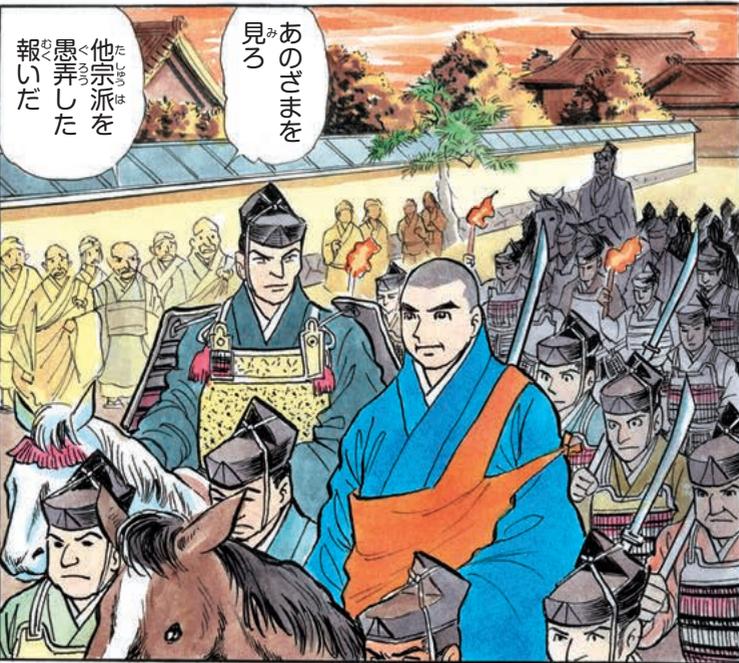
いやしくも
僧侶である以上
公に死罪を申し渡す
わけにはいかぬからな

流罪は
表向き

頼綱さまのおっしゃる
には今から護送して
龍ノ口刑場あたりで…

折りを見て
斬って
構わぬと

ほう
さすが
頼綱さまじゃ



あのさまを
見る

他宗派を
愚弄した
報いだ



あっ
出てきた



しばし
待たれよ



おい勝手に
下馬するでない
逃げたり
せぬ



フン
最後のあがきた
好きにさせい



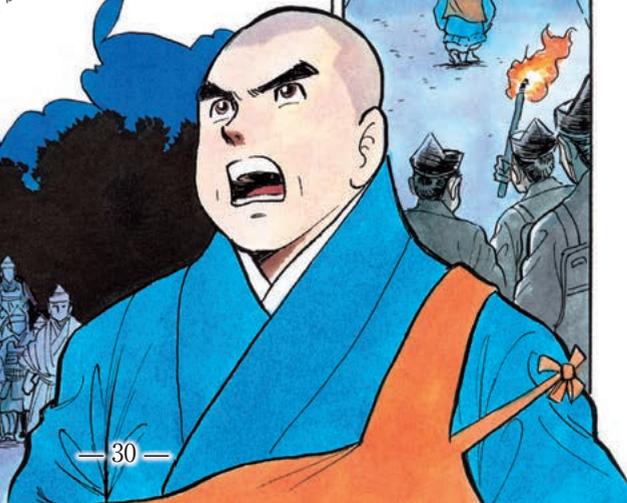
八幡大菩薩に
もの申す

法華経の
行者日蓮！



いかにこの
八幡大菩薩は
まことの神か
それとも
ただの邪神か
今 日蓮は
日本第一の
法華経の行者なり

教主釈尊 霊山において
この法華経末法に弘まらん時
その行者を守護なすべき由
仏敕ありしかば
天照八幡もその座に連なり
法華経の行者を守護する者



日蓮今夜首を
斬られて死ぬならば
靈山浄土の釈尊の
御前にまいる

日本国の八幡こそ
約束に違ひし邪神と
言上申しますぞ!!



正気か...
すさまじい
気迫じゃ
きつと諸大善神は
ご守護の証を
おみせになるで
あろう



ええい
何を
出立だ!

なめ
まじろ



あ
これは印東さまの
奥方では
ございませんか

お願いが
ございます

だめだ
だめだ
帰れ!

お待ちください
その行列
しばしお待ちを



せめてもの
真心でござりますまほ



お上人さまこの
ぼたもちをござい
お召し上がり
くださいませ



お役人どの
手を離して
やっつは
くだらぬか

日蓮さま



出立〜!!



日蓮 確かに
頂戴しましたぞ

かたじけない



南無妙法蓮華經



お上人さま



信心を怠らず
きつと靈山にまいられよ
日蓮靈山にて
待つておりますぞ

つづく

ぼたもち寺

JR鎌倉駅東口から徒歩10分の場所に「ぼたもち寺」と呼ばれる常栄寺があります。朱塗りの山門には「ぼたもち寺」と表記されています。鎌倉時代、日蓮聖人が刑に処されるにあたり龍ノ口に向かう途中、一人の老婆・棧敷の尼が胡麻入りのぼたもちを捧げたという逸話に由来します。寺号は老婆・棧敷の尼の法号「妙常日栄」にちなんだものだそうです。

刑がまさに執行される時、江ノ島方面の空に光る物体が出現したことで周囲が恐れをなし、刑は中止になります。その後、あの時老婆が渡したぼたもちは「首つなぎぼたもち」だったとして語り継がれるようになります。現在でも法難の日とされる9月12日には「ぼたもち供養」が行われています。

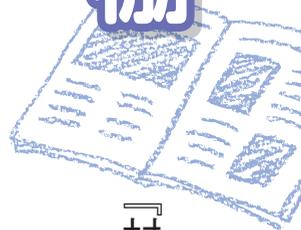
龍ノ口法難の霊跡にある龍ノ寺では、牡丹餅には年中無難、さまざまな災難を逃れる効力がある」と語り継がれ、9月12日の法要の後、堂内一杯に集まった参詣者に行き渡るよう、高所から「難除けの牡丹餅」がまかれています。



鎌倉観光ガイドHPより



お寺の本棚



『村上先生御法話集 第一巻』



節分会と豆まきの利益

豆をまき、福は内、鬼は外へと言っても厄は払えません。昔の

賢人は「冬も暮れて春立つ日より改めて心の鬼を追い出し、福の

神を心に宿すよう」にこの大切な教訓を残しましたが、今はただその形式のみが残存している
のであります。

古歌に、「福は内 鬼は外へと 豆まけど 腹の鬼をば なでかわいがる」とあります。ま
ことによく言ったものだと思います。また、福は内という字を並べますれば、不思議にも福の
入り来る文字が表されているのであります。

「富久^{ふくはうち}者有智」すなわち「富を久しうする者は智有り」であります。この智とは慈悲であり、
仏智であります。慈悲の仏智の徳を積みてこそ「富を久しうす」とは、まことにうまいことを
申したものであります。



鬼は外という文字を並べますれば「遠仁者疎道」すなわち「仁に遠ざかる者は道に疎し」となっています。遠仁とは、慈悲心なく、自分さえよければ人はどうでもよいと考え、貪り心を起こす所に間違いを生じて、正しき道を踏み違える者は鬼であるということです。この人は現在も苦しみ、将来も苦しまなければならないということでもありますから、この理さえ悟れば、わざわざ豆まきをしなくとも結構なのであります。

皆さんはよく悟ってください。自分勝手の心遣いや、気に入らぬとムカツと腹立つ鬼を心の宿から追い出して、自分は何が故に人と生まれたるかを悟り、人に慈悲を施し、恵みて我が喜びとし、徳を積む行いをしてこそ福が心に宿ります。福の神の来るような行いをせずして幸福を希っても、それはできぬ相談です。

古歌に「極樂は 西にもあらず 東にも 来た(北) 道さがせ みな身(南) にぞある」とあります。身の行いを省みずして極樂を願っても、皆身の行いに困って善果も来たり、悪果をも招くのでありますから、仏の教えに従って善因をまきつつ、ただ一つの大道を進まねばなりません。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

常寂光土への誘い (19)

無量義經 説法品第二

次に方等十二部經・摩訶般若・華嚴海空を説いて、菩薩の歴劫修行を宣説せしかども、而も百千の比丘・万億の人・天・無量の衆生、須陀洹・斯陀含・阿那含・阿羅漢果・辟支仏、因縁の法の中に住することを得。

「方等」とは方正・平等ということ。一生懸命修行を積んでいけば仏さまと同じような境界にまで到達することができるという道を示した教えて、大乘の教典を指します。

「十二部經」とは、仏さまのみ教えはさまざまな方面にわたっているものでありますが、説明・解釈を重ねていけば、すべての人が仏の境界に到れるということを十二種に分けて説かれたものであります。

一、修多羅契經と言ひ、普通の文章（長行散文）で教義をひと通り説いてあるところです。

二、伽陀諷頌と訳し、前の長行の方で言っていない事を別に言う場合、詩句の形で説かれた教え（偈文）です。それには二種あって、繰り返す偈と、繰り返さないで、前に言っていない事を改めて言う場合があります。

三、伊帝目多迦本事と言ひ、仏さまのお弟子や、み教えを聞く方の人々に対して、「あなたは今そういうような生活をしているが、前の世においてはこういう事をしていた」と言ひ、その人の前世を説か

れること。

四、闍多伽じやたかほんしやうか 〓 本生と訳し、仏さまご自身が、「自分は今急に仏に成ったのではない。前の世からこれの善根を積んで仏に成ったのだ」というふうには、菩薩としての前世の修行と因縁を説かれること。

五、阿浮陀達磨あぶただるま 〓 未曾有みぞうと訳し、不思議なことが現れます。譬えば、眉間の白毫の光が東方を照らしたというように、大勢の人の注意を引き、心を改めさせるような出来事が起こってくること。

六、尼陀那にだな 〓 因縁・事実を話すこと。理屈ばかり言っていてはよくわからないものですから、「昔こういう事があった。こういう人がこんな行いをした」というように、過去にあった事実を挙げてその教えを理解させるようにすること。

七、阿波陀那あばだな 〓 譬論ひゆんと訳します。法を説くために譬えを用いること。

八、祇夜ぎや（偈） 〓 重頌じゆうじゆと訳し、経典の中で前に長行（散文）で述べたところを、改めて詩のような形で示した部分を言います。普通は四句以上で、中にはさらに幾つも重ねて百にもなっている部分があります。

九、優婆提舍うぱだいしゃ 〓 論議（説明）と訳します。ひと通り言っただけではわからないことを、さらに詳しく説明すること。

この九種は、法華経ばかりでなく、どんなお経にもあることです。仏さまは、そのようないろいろなか法で教えを説かれたのでありますが、この九種を小乗と言ひ、それだけでは十分ではないので、さらに三つ合わせた十二部を「方等十二部経」即ち、大乘と言っています。

十 優陀那うだな 〓 自説と訳し、人々が問わないのに、仏さまご自身が説かれること。

十一、毘仏略ひぶつりやく 〓 方広と訳します。方は正しい、広は広いということ。いかなる人間でも覚り得られるも

のであるということ、を明らかにしたものです。

十二、和伽羅那^{わからな}授記と訳し、未来の成仏を約束することです。

「摩訶般若」^{まかへん}は大きい、般若は智慧という意味ですから、大きい智慧を具えるようになることができる、と説かれたものであります。

「華嚴海空」^{わごんかいくう}は華嚴經の事で、「仏の覚り」とはどんなものかということ、を説かれたもの。海空とは非常に広いという意味で、誰でも修行を積んでいけば、「仏の境界」に到ることができると説かれたものであります。

「歴劫修行」^{れきけつしゆぎん}は無限の歳月の間修行して、一步一步「仏の境界」に近づくということを説かれたものであります。「劫」は非常に永い歳月のことでありますが、歳月というより、「生々世々」という言い方をした方がいかもしれません。そして「歴」とは経るという意味でありますから、歴劫修行とは、生まれ変わりに死に変わり修行を続けるということになります。

一方、「即身成仏」ということが言われております。これは、今から心の持ち方によって「仏の境界」に近づくような善い行いができるといことです。

「自分は仏さまと同じ境界に行くことができるのだ」という目標に向かって、勇気を失わないように、どんなに苦しいことがあっても挫けることなく、努力に努力を重ねて進むことが大切です。

歴劫修行は、絶えず修行をしていかなければならないということ、を教えられてはいるのですが、成仏の目標を定めても、勇気を失ったり、いい加減のことばかりやっていてはなりません。「永い間辛棒して修行を重ねていかなければ成仏はない。努力して進むことによってこそ成仏できる」と考えていくことが大切

です。

即身の即は、即席ラーメンの即ではありません。「その身そのままです」という意味です。今のこの身が仏という別の存在に即変わるのではなく、人間であるこの身このままで「仏の境界」に達し得るという意味であります。それにはやはり相当な努力・修行が必要であることは言うまでもありません。

この説法を聞きまして、多くの修行者や人間界・天上界の人々が、その程度に応じて須陀洹・斯陀含・阿那含・阿羅漢果、そして辟支仏と、それぞれの段階の覚りを得ることができた、というのであります。



顕修院日達上人 御祥月命日

報恩唱題行開催

顕修院日達上人の御祥月命日である12月18日、御報恩唱題行が開催されました。

唱題行には、心を落ち着ける「浄心行」、一心にお題目を唱える「正唱行」、唱えたお題目の功德を味わう「深心行」があります。

お題目を唱える前にまず「浄心行」を行います。姿勢を整え、呼吸を整え、心を整えます。ゆっくりと腹式呼吸をしながら呼吸の数を数えることに精神を集中いたします。その後「正唱行」唱題を行います。お題目の唱え方のポイントとして、①端坐合掌たんざががしやう⇒まっすぐに坐り、威儀を整え、合掌します。②恭音朗唱きやうおんろうしやう⇒うやうやしく音調を整え、朗らかにお題目をお唱えします。③専念法音せんねんほふおん⇒唱えるお題目の音声に、心を集中統一して、仏さまの御心に溶け込むようにゆっくりと唱え始めます。次第に早く、最後はまたゆっくり唱えます。緩急のついたお題目を一心に集中してお唱えします。

唱題行終了後、日達上人のありし日のご法話を拝聴いたしました。ご法話の中で始祖・御法集の「誠の孝道」についてふれられ、「我らの体は父母の遺体なるが故に、我が身に功德を積めば、必ず父母に報いることができます。父

母はおるか上無量生の祖先までも、六道を離れしめることができます。必ず、日々安心して暮らすことができます」とお話しくださいました。

一心にお題目を唱えることよって、参加者それぞれが、仏さまを身近に感じることできたありがたい一日となりました。

夜の部では、6年前から毎月ご参加いただいている方より、唱題行を続ける功德について体験を交えながらお話しいただきましたのでご紹介いたします。

《体験発表》

私が唱題行に初めて参加したのは、6年前の11月18日でした。翌日、長女の大学受験を控えており、「最後は仏さまにお願いして、心を落ち着けることしかない」と親子で話をして、お寺に来たところ、唱題行の案内を目にしたことがきっかけでした。恥ずかしながら、それまで唱題行のことを知らず、どんなことをするのか興味もあり、また合格祈願もお願いしたいという思いもあって参加したのですが、ろうそくの灯りだけの中、お題目をお唱えする幻想的な空間に、終えた時に心がすっきりし、達成感を感じました。

長女は、翌日の試験に落ち着いて臨むことができ、「(面接では)次々と言葉が出てきて不思議な感じだった」と話してくれました。お陰で志望大学に合格することができ、大きなお徳をいただいたな」と思いました。そして、このいただいたお徳をどのようにお返しをしていくのがよいか親子で話をして、今後もできる限り唱題行に参加して、続けていくことだと決めました。

私の3人の子も達は、日達上人さまより胎教を受けていました。お会いする度に、「しっかりした良い子達だ」と言ってくれましたが、当時、私は子育てが大変で、全く余裕がなく、喜べない日々を過ごしていました。それが見透かされ、私が喜べるようにお徳をくださったのだ」と、ずいぶん後になって気づきました。ご報恩感謝の気持ちを含めながら、子ども達の成長を報告する時間と場所にしたという思いを強くしています。

唱題行を始めたばかりの頃は、必死の形相でお題目をお唱えし、半分は雑念、半分は自分の仕事のこと、そして子ども達のお徳願いといった、自分のことばかりを思っていました。それが、回数を重ねていくうちに、次第に変わっていききました。

ご指導くださったお上人はおっしゃいました。

「お題目をお唱えする時は、眉間にしわを寄せて、怖い顔で行うのではなく、柔和な顔で一回一回のお題目を、心を

込めて行うこと。自分のことだけでなく、縁ある人のお徳願いや、その方の先祖供養を願って行うこと。また縁ある人だけでなく、広く誰かを思ってお唱えすることが大切です」
どれもが、その時の自分が、より深く学ぶための指針でした。以来、完全ではありませんが、意識することで、今では柔和な顔で丁寧な心を込めて行うこと、これまでの人生で出会った多くの縁ある方や、直接は関係なくても、生活を支えてくださっている方を思いながら、唱題を行うことを心掛けています。

今、この場のすべてのこと、自分がここにいられることに感謝しながら、7年目も気持ち新たに、続けていきたいと思っています。
(谷田真千子)

【唱題行のご案内】

場所 本山大本堂

●夕勤唱題行 毎日(日・祝を除く)午後4時より

●報恩唱題行 毎月18日(顕修院日達上人御命日)

昼の部 午後1時30分より

夜の部 午後7時30分より

皆さまぜひご参加ください。



法音寺は「**信仰**と**福祉**のお寺」です



困っている人達の助けになることで、
法音寺には“**功德**”が積み重ねられています

(功德とは、「幸せを引きよせる種」です)

その功德が信仰を通して
皆さんに授けられるのです



法音寺による社会貢献

社会福祉法人昭徳会の運営を基に
現在1,500名を超える人達のお世話をさせていただいています



**福祉のさまざまな分野を支え、
利用者さんの幸福を実現します**



児童福祉施設

親と暮らせない約170名の子どもの
生活を支えています

保育園

毎日370名余りの園児達の
成長を見守っています

障がい児・障がい者施設

300名を超える人々に
日々希望を与えています

高齢者施設

600名ほどのお年寄りに
寄り添っています



ひろば

福祉の



幸せのお手伝い

（前向きに

とことん付き合って）

優しい時間の共有

泰山寮で初めて担当した利用者さんは、多動が先行して本来できることが隠れてしまい、ニーズが読み取りにくい方でした。そのため、支援がむずかしく感じ、私の気持ちはひるんでいました。しかし、法人の新人研修で、「どんな仕事も与えられたものは前向きに取り組むべき」と教えていただいたことを思い出し、この方としっかりと向き合っていくと決意しました。

しかし、彼女はバタバタと常に走り回っています。声を掛けても、本人の行動より対応が後手に

回り、ただ追いかけているだけになっていました。

担当として本人のニーズをくみ取る前に、私の話を聞いてもらう体制を作らないといけないと感じました。そのためには、私と利用者さんとの間に信頼関係を築くことが必要と考え、食事での一コマ、散歩中の一コマ、入浴での一コマと、彼女の日常のあらゆる場面に私がいることを意識してもらえよう関わっていきましました。そして、私を道しるべにして動いて欲しい」と願いました。また、日常の関わりから、より強固な関係性を作るため、個別外出、マラソン大会、ウォーキング大会などさまざまなところにも出掛けました。

この頃、彼女の母親はグループホームに入所していました。そのため、自宅に帰ることもできなくなり、それと同時に母親に会う機会も失ってしまいました。

ある日、大好きなお母さんに会ってもらおうと、一緒にホームへ行きました。母親のもとに向かう車の中で、彼女に通じるかどうかわからないし、返事もないだろうと思いつながら、母親に会いに行くことを伝えると、「うん」と返事がありました。初めて彼女と通じ合えたと感じた瞬間でした。何年かぶりに会う母親の前に、いつものようにバタバタと動くことなく、椅子に静かに座って過ごしていました。そして、泰山寮では見ることができない、最高の笑顔を見せてくれました。

この他にもたくさん、彼女の人生の節目と一緒に立ち会えたことは、お互いの関係を作るための

大きな土台となりました。

今では、個別外出時に、彼女がしたいことをしっかりと取り取って実施すると、とても満足そうな表情をし、自然な会話が成り立ちます。言葉数は少ないですが、利用者と職員という関係性を越えた、普通の人付き合いができている柔らかな空間が広がります。この瞬間、私は舞い上がるような気持ちになり、胸が高鳴ります。この柔らかな空間が少しでも長く続くよう時間を共有していきます。

泰山寮 生活支援員 梶原 千花



三法人の交流を深める取り組み



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会

～鈴木修学初代理事長の思いを受け継ぐ～

社会福祉法人昭徳会には、三法人連携室があります。これは、昭徳会と宗教法人法音寺と学校法人日本福祉大学との連携強化を目的とし、さまざまな取り組みを実施するものです。そして、この室を担当する職員は、ほぼ全員が日本福祉大学の卒業生で構成されています。

今年度の三法人連携室の活動は、「三つの法人は、鈴木修学初代理事長（法音寺御開山上人）が起点であるグループ法人であること」を、昭徳会の職員だけでなく、地域の方や日本福祉大学の学生に知ってもらうことを目的に取り組みしました。

今年度の連携活動の一部を紹介させていただきます。まずは、10月14日に法音寺の本堂をお借りして「福祉セミナー」を開催しました。このセミナーでは、松田文登氏（株式会社セラールボニー代表取締役副社長）をお招きし、講演会を実施していただきましたが、その前に法音寺、昭徳会、日本福祉大学の紹介映像を上映し、地域の方々にも三法人の関係について知っていただくことがで

きました。

11月4日には、日本福祉大学 美浜キャンパスで開催された大学祭に、昭徳会の露店を出店しました。露店では、焼きそばやぱりまるたません、小原寮利用者の作品などを販売し、学生の方々に昭徳会と日本福祉大学がグループ法人であることをお伝えしました。多くの学生から「初めて知りました」との言葉が聞かれましたが、この大学祭を通じて三法人を広報することができたのではないかと思います。

また11月12日には、日本福祉大学 東海キャンパスをお借りして「福祉実践発表会」を開催させていただきました。昭徳会職員が、大学内の様子を知る良い機会となりました。また、高校生も何名か参加してください。進学先として「日本福祉大学を考えています」とうれしい言葉を聞くことができました。

そして12月下旬には、毎年、法音寺のお上人さまにご協力いただいている、サンタクロース訪問

があります。これは、お上人さまがサンタクロースに扮し、昭徳会の施設をご訪問くださるものです。各施設での、お上人さまのパフォーマンスがとても楽しく、利用者の皆さんが見せる笑顔がとても印象的でした。また、

このサンタクロース訪問は、昭徳会の職員が法音寺のお上人さまと交流する良い機会となっております。また、令和6年1月の法音寺新年祝祷会においては、昭徳会の露店を出店させていただきました。今後も鈴木修学初代理事長の思いを受け継ぎ、より良い福祉サービス提供ができるように、三法人連携室としてさまざまな取り組みに挑戦していきたいと思っております。

社会福祉法人昭徳会 三法人連携室 室長 瀨瀨純司



付属高校吹奏楽部も全国大会に出場します！

〔日本福祉大学付属高等学校〕

前号でご紹介した、付属高校和太鼓部の全国大会出場に加え、この度付属高校吹奏楽部も全国大会に出場することが決定しました。

昨年12月19日に愛知県瀬戸市で行われた、愛知県高等学校文化連盟総文祭・吹奏楽部専門部県大会にて、本校が「特賞」（1位）を受賞し、今年行われる第48回全国高等学校総合文化祭（全国大会）に初出場することが決定しました。

付属高校吹奏楽部は今年創部13年目で、6年前からは名古屋市内の中学校で何度も全国大会出場経験のある指導者のもとで強化を行っており、これまで日本管楽合奏コンテスト全国大会「最優秀賞」、全日本吹奏楽コンクールB編成の部東海大会「金賞」（いずれも2023年度



写真提供・日本福祉大学付属高等学校



の実績)など多くの結果を残してきました。これまでの結果を足掛かりに今後も練習内容の充実を図り、全国大会でも上位進出をめざしていきます。

第48回全国高等学校総合文化祭での演奏は、2024年8月4日・5日、岐阜県羽島市の不二羽島文化センターで開催の予定です。

今後とも吹奏楽部の応援をよろしく願っています。

日本福祉大学付属高等学校

吹奏楽部 顧問代表

加賀 敏美

謹んでお見舞いを申し上げます

この度の能登半島地震で

被災された皆さまに

謹んでお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧と、

皆さまのご健康を

心よりお祈り申し上げます。

大乗山 法音寺

編集後記

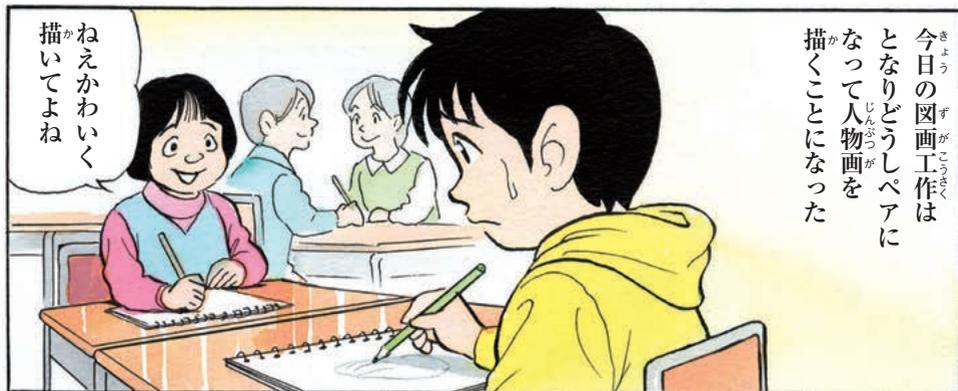
「今日一日」とは、法音寺に関わる人々が、三徳実行を習慣化させるための指針として使われてきた言葉です。毎年、正月を迎えるたびに、「今年こそ……」と思うのですが、その決意を一年通して継続させるのはむずかしいものです。「今日一日……」に毎日心を向けることが大事なようです。

日達上人は「善いことは一度や二度はできても、長続きしないのは、『オレガ』という我があるからで、見方を変えることで世界が変わります。『ありがたいな』という心をたくさん持つて、たくさん施しをした人が一番幸せになります」とおっしゃいました。

私達の手元には「今日一日……」から始まる実行目標があります。自宅の玄関や職場など、毎日目に入る場所に置いて、自分に言い聞かせることから始めたいものです。山首上人さまは「言葉は行動を変え、行動は習慣となり、習慣が人格を変え、運命を変える」とよくおっしゃいます。自分の生活の姿勢が三徳の軸の上にあるかを検証しながら精進していきましょう。

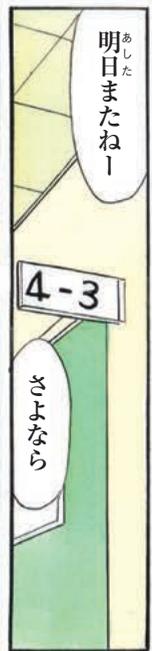
しょう ぞう が
肖像画

竹中 淳













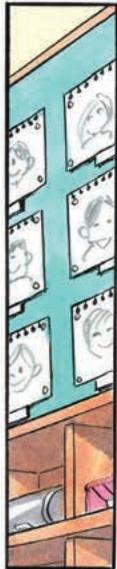




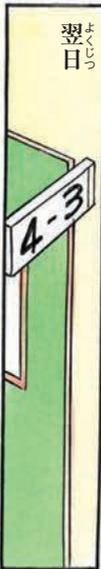
思ったことを何でも
口にする乱暴な
キミだと思ってたけど

吉本さんのこと
やさしい いい子って
ちゃんと見てたんだね

何も見ていなかった
のはボクだ…



肖像画の宿題
ごくろうさま
あとで貼り出し
とくからね



ゴメン
ボク急ぐから
先行くね



蓮くん 最高！
ありがとう



うわあ 蓮くん
ミーコも描いて
くれたんだね
ミーコって
いうんだ！

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





悦可衆心

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
https://www.houonji.com FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjimovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭徳会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 保育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市長和区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<https://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和6年2月号・No.652・令和6年2月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社